

災害伝承の取組事例(R2年度) 広島市立戸山中学校

概要

(1) 実施日

令和2年7月20日(月) 「戸山探検」(砂防出前講座)

(2) 対象者

広島市立戸山中学校(1年生 15名)

(3) 内容

- ・土砂災害についての授業
- ・昭和26年ルース台風など過去の災害について
- ・平成11年6.29豪雨災害(戸山地区)の被害
- ・砂防ダム等の防災施設の見学

戸山探検(遠足を活用した防災教育)
過去の被災状況を子供達に伝える
砂防ダム等の現地見学

地域全体
での伝承
の取組

戸山体験で学んだことの成果を
文化祭(10月)で発表
(地域住民参加)

「地域の砂防情報アーカイブ」に登録されている地域の災害記録



平成11年6月29日豪雨災害の記録

昭和26年ルース台風の記録

授業の様子



地域の防災施設を見学



【文化祭での学習成果の発表】～地域ぐるみでの災害伝承

生徒の感想



- ・R2. 10. 17(土)
戸山小学校・戸山中学校合同文化祭「とやまっ子文化祭」
- ・中学1年生が戸山探検で撮影してきた写真などを映しながら、地域の防災について学習したことや感じたことを保護者、地域の方々の前で発表(今年度はコロナの影響で保護者のみ)

- 戸山は危険な場所が多いため、たくさんの知識を身につけておかないといけないと感じました。
- 広島が一番土砂災害が多いことに驚きました。
- 講義で土砂災害の危険性を知り、とても身近なものだということを感じました。
- 今後は大雨の時、危険だと感じたら自分から命を守る行動へと一歩ふみ出せるようになりたいです。